

公益財団法人まちみらい千代田
第8期第2回理事会 議事録

1 日時

令和2年12月2日(水)午前9時55分から午前11時まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア5階506会議室

3 理事現在数

6名

4 出席者

(1) 理事・監事

理事(4名) 立川資久、高橋誠一郎、石田大介、栃木一夫(欠席者:齊藤広子、村木久人)

監事(2名) 渡邊牧文、保科彰吾

(2) 事務局

事務局長 高橋誠一郎

グループマネージャー 加藤英明、伊澤優、佐波玲子(以下GMという。)

5 議題

[報告事項]

(1) 理事長、副理事長の職務執行状況報告

(2) 第8期事業実施状況中間報告

[決議事項]

(1) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

6 開会、あいさつ、定足数確認

配付資料の確認後、立川理事長が議長となり、開会を宣言した。立川理事長の開会あいさつに続き、定足数の確認が行われた。出席者について事務局が報告し、定款第46条で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立している旨が報告された。その後、議事に入った。

7 議事の経過および結果

(1) 理事長、副理事長の職務執行状況報告

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項」および「定款第34条第3項」に基づき、立川理事長と高橋副理事長が職務執行状況の報告を行った。

はじめに立川理事長が職務執行状況の報告を行った。

各通常業務に加えて、新型コロナウイルス感染症対策や今期の拡充事業である千代田ビジネス大賞の

受賞企業交流会等の円滑な実施に向け、諸課題を整理しながら進行管理に努めたことを報告した。また、第8期事業実施状況中間報告の取りまとめを行ったことを報告した。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況は不透明であるが、状況等の変化を的確に把握しながら、柔軟性と迅速性を持った事業運営を行うことを告げた。

次に高橋副理事長が職務執行状況の報告を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施が危ぶまれた「ビジネス起業塾・専門講座」と「千代田まちづくりサポート公開審査会」を7月に実施したこと、また、11月に「マンション管理講座」と「千代田まちづくりサポート中間発表会・普請部門二次審査」を実施したことを報告した。

なお、これらの事業の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症の予防のため、「非接触」「三密回避」「リモート実行」を徹底するよう職員へ指示したほか、新型コロナウイルス感染症収束後の仕事の取り組み方などについて、見直しを進めていることを報告した。

(2) 第8期事業実施状況中間報告

高橋事務局長が、第8期事業実施状況中間報告の概要について説明を行った。その後、各GMから担当事業の詳細について、報告を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、加藤GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、伊澤GMが報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、佐波GMが報告を行った。

なお、報告後に以下のような質疑があった。

(理事)

区内のマンション数はすべて把握しているのか。

(事務局)

分譲マンションは、昨年実施した「千代田区分譲マンション実態調査」からその棟数を把握している。ただし、それ以降に建設された分譲マンションは把握していない。また、賃貸マンションについては大手不動産サイトの情報になるが、約470棟あることを把握している。このことから、区内のマンション数は分譲・賃貸を併せて約960棟あることになる。

(理事)

支援する対象は築年数の古いマンションなのか。

(事務局)

区内の分譲マンションのすべてがサービスの対象である。こうした中で分譲マンションの約3割は旧耐震基準のマンションのため、建物維持・整備に関する支援メニューを充実させている。今後も国や東京都のさまざまな制度を把握したうえで、必要とされる支援を検討し、事業に反映させる。

(3) 議案 第4号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

高橋事務局長が第8期第2回評議員会について、開催の日時・場所および議題の説明を行った。

その後、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

8 閉会

以上をもって、すべての議事を終了したので、午前11時に立川理事長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長および監事がこれに署名、押印する。

令和2年12月2日

公益財団法人まちみらい千代田
第8期第2回理事会

理 事 長 立 川 資 久 ⑩

監 事 渡 邊 牧 文 ⑩

監 事 保 科 彰 吾 ⑩